2025年10月18日（土）
主催：（一般社団法人）障がい児成長支援協会
共催：（一般社団法人）障がい児成長支援協会川口支部長
「こぱんはうすさくら川口青木」

～義務教育9学年全てを担任した経験がある講師が語る～

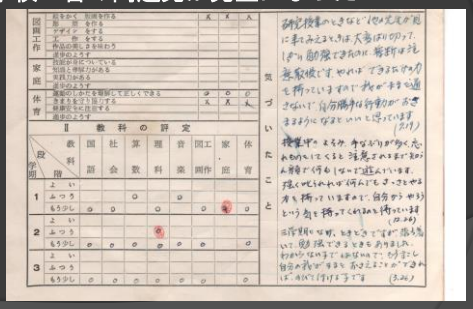
『入学するまでに身につけておくべき力（学習・生活・仲間）とは何か？』

【前半】小学校に入学するまでにやるべきこと
【後半】中学校に入学するまでにやるべきこと

（一般社団法人）障がい児成長支援協会　代表理事・協会長
中部学院大学非常勤講師　山内　康彦

講師紹介・・・

◎学校一番の問題児が先生になった



今日のお話の内容（子どもたちのためになるお土産を少しでも多くご紹介したい。）

1　はじめに・・・特別支援教育の現状
2　学校や各種機関等との連携の在り方
3　小学校入学までに身につけさせたい『力』
4　小学校卒業までに身につけさせたい『力』

出典：文部科学省「特別支援教育資料（令和2年度）」P.15、P16をもとに筆者作成。
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1406456_00009.htm

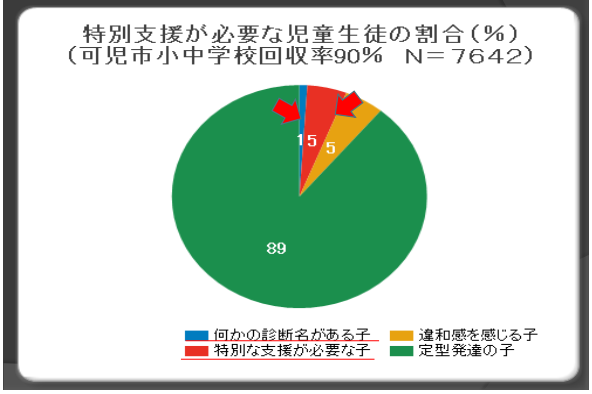
出典：文部科学省「特別支援教育資料（令和2年度）」P.43をもとに筆者作成
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1406456_00009.htm

特別支援が必要な子ども達の増加

■データ①
小中学校の通常学級における発達障害の子ども
全国８．８％（前回６．３％）
大幅に増加！　コロナ２０１９流行が原因！

■データ②
小中学校の通常学級における発達障害の子ども
小学校７７人に１人　中学校２０人に１人
※更に、“保健室登校”などの予備軍も多数有

【通常の学校内で約６％の対象児】（可児市も全国同様）



今日のお話の内容（子どもたちのためになるお土産を少しでも多くご紹介したい。）

1　はじめに・・・特別支援教育の現状
2　学校や各種機関等との連携の在り方
3　小学校入学までに身につけさせたい『力』
4　小学校卒業までに身につけさせたい『力』

○小1でやることは決まっている

“できない”のではない、『準備に時間が必要な子』

《特別支援が必要な子の特性》
→▲新しい事に取り組むことが苦手（自信がない）
→▲身につくまでに時間を必要とする

☆【ならば・・・早くから（今から取り組めば良い）】
（学習の例）色塗りは、外枠をなぞってから塗る
（生活の例）名札を付ける・マスクをする
（仲間の例）色々な子どもと混ざって遊ぶこと
※講演会の後で具体例を詳しく解説します。

○園での“加配支援”の注意

“加配支援”で、『できる』は小学校では通用しない

▲支援員が卒園までしっかり支援してしまう
→小学校では支援員はマンツーでつかない
→小学校で“できない子”になってしまう

《加配支援の原則》
①まずは、支援員と一緒にできる
②支援員が見届け、できないことだけ支援する
③支援員がいなくても1人でできるようにする
※本来③をめざすために加配がついている！

○学習の力より「適応能力・社会性」が重要

昔は“勉強さえできれはよい”と考えられていたが

《今大切な力は・・・》

知的能力＋適応能力＝生きていく力
（学力・IQ）　（社会性）

①どちらかと言えば、「適応能力（社会性）」が重要
②その社会性の中でも大切な力は“身辺自立”
③身辺自立の中でも、もっとも注目されるのが・・・
「トイレの自立」「食事の自立」「着替えの自立」

「心理検査の活用」と「応用行動分析」

本来判定に使うためのものではない
☆K－ＡＢＣ・K－ＡＢＣ２
☆田中ビネー
☆ＷＩＳＣⅣ・ＷＩＳＣⅤ
☆新版Ｋ式
※どうして寝るのか？→

個の知的特性等を把握し、その高低やバラツキからその子に合った支援を考える材料にするもの→お子さんの凸凹を認めること

知らなかったでは済まされない

学校をはじめ各種機関ではもっとよい
様々なサービスを受けることができる
しかし、向こうから教えてくれない！！
→よいサービスは保護者が請求する
なぜ、向こうから教えてくれないか
（※税金の控除も申告制ですね）
全員にそのサービスができないから
※公務員の最大の欠点の一つ！！
◎医者の意見書を使うとよい

知らなかったでは済まされない

☆文句を言う前に情報を知って
「かしこい親」になりましょう

※「個別の支援計画の作成」
　保護者と相談のもと学校が中心になって作成。様々な機関も巻き込んで、有効な支援を書類の中に残していく。担当が変わっても残る。

今日のお話の内容
（子どもたちのためになるお土産を少しでも多くご紹介したい。）

1　はじめに・・・特別支援教育の現状
2　学校や各種機関等との連携の在り方
3　小学校入学までに身につけさせたい『力』
4　小学校卒業までに身につけさせたい『力』

小学校のうちに身につけさせたいこと

『知的能力』と『適応能力』
1　知的能力→『学校の勉強』『知能指数』
2　適応能力→『社会性』
◎両方大切ではあるが・・・・
まず大切なのは適応能力（社会性）

では、その大切と言われる
　適応能力（社会性）とは何か？

まずは、何を身につけることが重要なのか
※0歳～7歳までに身につけたい社会性
～「KIDS」 乳幼児発達スケールの活用～

1　運動
2　操作
3　理解言語
4　表出言語
5　概念
6　対子ども　社会性
7　対成人　　社会性
8　しつけ
9　食事

就労の違い（山内の指導経験から）

○作業所へ行ける子（７歳の壁）
　→※まずは、７才の力を身につけること
○B型事業所へ行ける子（９歳の壁）
○A型事業所へ行ける子（１２歳の壁）
○一般就労へ行ける子（１５歳の壁）

☆最終的に就労できるかどうかは、
　『社会性の高さ』で決まる！

今日のお話の内容
（子どもたちのためになるお土産を少しでも多くご紹介したい。）

1　はじめに・・・特別支援教育の現状
2　学校や各種機関等との連携の在り方
3　小学校入学までに身につけさせたい『力』
4　小学校卒業までに身につけさせたい『力』

生活の仕方の基本について①

《注意》
「ゲーム」や「YouTuber」の子守は厳禁！
将来取り返しの付かないツケがまわってきます

ICD11（WHOの診断基準）
〇アルコール依存症
〇ギャンブル依存症
〇ゲーム障害（新）・・・・・・同じ精神病

つまり、ゲームを毎日3時間する子は、毎日3時間飲酒したり、パチンコするのと同じ！？

生活の仕方の基本について②社会生活力

将来の就労の出口から考える　今から取り組む事

（1）みだしなみ　（清潔感のある服装）
（2）生活リズム　（欠席、遅刻、早退をしない）
（3）情緒の安定　（安定的に仕事に取り組む）
（4）責任感　（ルールを守り決められたことをやる）
（5）就労意欲　（意欲的に働けたか）
（6）コミュニケーション　（報告・連絡・相談）
（7）挨拶・返事
（8）社員への対応　（指導者に対して適切な対応）
（9）協調性　（手助けなく協調行動）

生活の仕方の基本について③業務能力

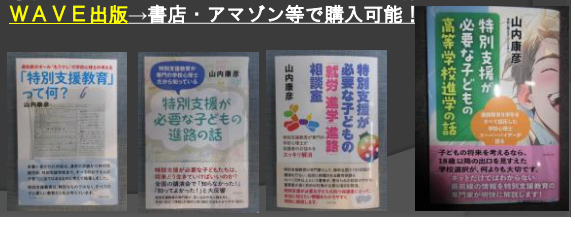
将来の就労の出口から考える　今から取り組む事

（1）業務意欲　（進んで取り組めたか）
（2）指示等を聞く　（素直に指示や注意を聞く）
（3）時間厳守　（時間を意識した行動）
（4）準備・片付け　（整理整頓）
（5）正確性　（正確な事務処理）
（6）集中力・持続力　（集中して取り組めるか）
（7）質問・報告　（必要に応じた質問や報告）
（8）理解力　（教えられたとおり実行できるか）
（9）柔軟性　（急な変更への対応力）　全てSとA！

質の高い福祉サービスを活用するとよい！

学童保育や通常の園では・・・・
※たくさんの子どもに対して指導員の数が少ない
・学習の見届けも、活動の見届けも甘い。
・子どもが多いので、指導員が個に対応できない。
〇健常の子は、自らの力で社会性を身につけていく。

児童発達支援・放課後等デイサービスは・・
※定員１０人に対して　指導員が４～５人
・学習の見届けも、活動の見届けが充実。
・職員が多いので、個の対応も可能!!
〇特別支援が必要な子は、肯定的に認めてくれる大人のもとで社会性を身につけていく。
単なる預かりではない質の高い施設を選びましょう。

ご清聴ありがとうございました

オススメ　ほめる育て方や進路についてわかる本！
①特別支援教育って何？
②特別支援が必要な子どもの進路の話
③特別支援が必要な子どもの「就労・進学・進路」相談室
④特別支援が必要な子どもの高等学校進学の話
ＷＡＶＥ出版→書店・アマゾン等で購入可能！